

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子



もしもの時に備える～ 6年生起震車体験・避難訓練 ～

1月15日（木）伊勢崎市消防署の協力で、6年生が起震車（地震のゆれを体験出来る自動車）に乗る機会をいただきました。この車は群馬県に1台しかないそうです。

6年生は、地震の強さ（3段階：震度7強の南海トラフ地震を想定した揺れなど）を選び、3～4人グループで体験しました。子供たちはアトラクションのような反応でしたが、起震車が動いている時は体が大きく揺さぶられ、何かにしがみついていると体を支えることが難しいことを実感したようです。いざという時には、今回の体験をいかし身を守る行動をとってほしいと思います。

1月16日（金）には、火災発生を想定した避難訓練を行いました。今回の避難訓練では、予告なしで突然火災報知器を鳴らし、子供たちに避難するよう指示を出しました。しかも、火元近くの中央玄関は通れないという設定でした。子供たちは、戸惑いながらも「おはしも（おさない、走らない、しゃべらない、もどらない）」の約束を守り、冷静に避難することができました。また、終了後は、各クラスで避難訓練の様子を振り返りました。

1995年1月17日には、阪神淡路大震災が起き、6000人以上の方が亡くなり、多くの方が避難を余儀なくされました。子供たちはもちろん生まれていませんが、2011年の東日本大震災と同様に、忘れてはならない災害です。群馬県で大きな地震が起こった場合も、大規模火災が発生することを想定しておく必要があるそうです。建物や道路の損壊、通信機器や電気、水道が使えなくなる可能性もあります。いざという時に、どのように行動するのか、事前にどのような準備が必要なのかなど、ご家族で話し合ってみてください。



起震車の説明



順番に体験しました！



校庭に避難しました



避難訓練の振り返り

朝の読み聞かせボランティアが始まりました！

3学期から保護者有志による「読み聞かせボランティア」の活動が始まりました。19日（月）は、5名の保護者の方に1年生3クラスの児童に対し、読み聞かせを実施していただきました。どのクラスの子供たちも、真剣な眼差しで絵本の世界に没頭しながら、読み聞かせを楽しんでいました。今月は5回実施予定（朝8:30～40、低学年の児童を中心）です。子供にとっても保護者ボランティアの方々にとっても、充実した楽しい時間になればよいと思います。



～子供たちに「絵本との出会い」と「楽しい時間」をありがとうございます！～